

No. 147

さい議会だより



山の木の一部は薪ストーブに必要な燃料に 【関連記事：9 ページ】

9
月
定
例
会

- 平成 20 年度決算を認定 … 2, 3 ページ**
- 奨学金は危機的状況 … 4, 5 ページ**
- インフルエンザ対策は… 7 ページ**

平成21年第3回定例会は、9月8日から11日までの4日間の会期で行なわれました。

村長から、財政状況に関する報告2件、決算認定7件、補正予算案6件、条例案5件、その他の議案3件、教育委員並びに固定資産評価審査委員の人事案2件の計25件、議員から陳情の採択に伴う意見書案1件が提出され、それぞれ全会一致で原案どおり決しました。

なお、9月9日、午後6時に開会した「夜間議会」では追跡質問と一般質問（1議員）を実施しました。多数のみなさんに傍聴いただき、ありがとうございました。詳しくは、8ページから11ページをご覧ください。

平成20年度決算を認定

～一般会計形式収支は6706万円の黒字～

会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	基金繰入額
一般	3,080,033,072円	3,012,970,598円	67,062,474円	29,375,000円
特別会計	簡易水道	150,275,896円	150,275,896円	0円
	下水道	224,171,105円	224,171,105円	0円
	国民健康保険	417,189,310円	407,982,607円	9,206,703円
	老人保健	43,331,490円	43,331,490円	0円
	介護保険	254,530,614円	248,358,091円	6,172,523円
	後期高齢者医療	23,031,278円	22,818,078円	213,200円



ごみの収集・処理には約1億円を支出しています
【アクセス・グリーン視察（平成20年7月）】



消防センター建設工事費として約3億円を支出しています

總括質疑



平成22年3月10日完成を目指す新保育所

七月十日から一ヶ月間の募集に、社会福祉法人「吉幸会」とむつ市のNPO法人「希望の友」の二団体から応募があつた。

宮川議員

佐井村保育所 指定管理者の選定は

審査の方法は

「選考委員会」で プレゼンテーション

員四人、計六人の選定委員会でプレゼンテーションを受け、「吉幸会」を選定した。

今後の職員への 対応は

「吉幸会」には、現在の職員、調理員などを含めた臨時職員の雇用をお願いしている。役場への転属を希望する、所長を除く職員（保育士）には、役場で事務研修を行なっている。

が現年度分および滞納分の合計で前年度をポイント上回り、一千五十七万二千円の増加となりました。当面、単独行政運営を続けていて、自主財源の確保が重要であり、今後より主財源の確保および運営に、より一層努めることをお願いします。

一方、奨学生の滞納額は年々増加を続けており、年度と比べ二百六十円千円増加し、平成二十度への滞納額は一百六十五万五千円となり、危惧される状況となっています。漁業不振や景気の低迷により、また厳しい状況が予想されますが、後に続く奨学生のためにも基金の残高確保が重要であることから、効果的な徵収を要望します。

す厳しい状況が予想されますが、後に続く奨学生のためにも基金の残高確保が重要であることから、効果的な徴収を要望します。

歳出では、依然として経常收支比率や実質公債費比率が高い水準に留まっており、財政構造の硬直化に歯止めがきかず、今後の財政運営も予

一方、奨学金の滞納額は年々増加を続けており、前年度と比べ二百六十八万八千円増加し、平成二十一年度への滞納繰越額は一千九百六十五万五千円と、非常に危惧される状況となつて います。漁業不振や長引く景気の低迷により、ますま

が現年度分および滞納額
分の合計で前年度を一・八
ポイント上回り、一千三百
五十七万二千円の增收とな
りました。当面、単独での
行政運営を続けていくた
め、自主財源の確保は非常
に重要であり、今後とも自
主財源の確保および滞納整
理に、より一層努めるよう
お願いいたします。

断を許さない状況です。

職員の不補充や、給与などの削減により大変厳しい職場環境にありますが、職員には知恵を出し、創意工夫し、行政の経営意識に立つて限られた予算を効率的・効果的に活用し、住民目線に立つた行財政運営に当たるよう要望します。

平成二十年度決算に係わる実質公債費比率および将来負担比率は、ともに早期健全化基準を下回り、平成十九年度と比べても比率は減少していることから、概ね健全であるといえます。より一層の財政健全化に向けた諸般の取り組みをお願いし、決算審査報告とします。



決算審査報告をする奥本代表監査委員



高校・大学などへの進学が期待される中学生（10月18日：佐井中学校文化祭）

教育長

以前に比べて増加

奨学金の引き上げに伴い、以前より償還月額が増加しているため、一件あたりの滞納額が増加しているということか。

1件あたりの
滞納額が増加か

貸与申請時に厳しく審査をしている。滞納者には文書や電話での督促を行なっているが、面談はしていない。今後は直接会い、徵収するよう努める。

滞納者には
電話などで督促とくそく

奨学金の滞納額が年々増加し、平成二十年度決算では過去最高額となつている。滞納解消対策は。

る。以前に比べて増加している。

連帯保証人への 賃貸契約書

川畠委員 滞納額増加とともに、滯納者も増加しているが、一時期、積極的に取り組むと、いうことで連帯保証人にも督促していたようだが。

**連帯保証人には
亡くなつた方も
教育長**

死亡している連帯保証人もいるため、積極的な働きかけはしていない。連帯保証人の変更について調査し、手続きをしているところである。

獎学生・保証人・連帶保証人の中には連絡が取れない人もいると聞く。連絡先が分からぬのは何件か。

死亡している連帶保証人は十六～十七名いる。

奨学生の所在不明と連
帯保証人の死亡が重なつ
てあるケースはあるのか。

対応ができない
ケースは

授業料金制度は危機的状況

予算・決算・条例等審査特別委員会



十数年後には義務教育を終える子どもたち

授学生の所在不明
保証人の死亡も

滞納者には
厳しい対応も検討

教 育 長
授学生の所在不明と保証人・連帯保証人の死亡が重なっているケースがある。

奨学生に対する
教育が必要

川畠委員
貸与時に厳しく審査しているとのことであるが、家庭や学校生活の中での意識の醸成も必要である。中学生だけではなく、日頃からの教育が必要ではないか。

川畠委員
以前は、家族単位ではな

滞納は深刻な状況
申込んだ場合、断ることも考えなければならない。

会が学校を訪問し、全学年に奨学生について説明し理解を深めたい。

このまま滞納が続くようであれば、現在滞納している奨学生の弟・妹が貸与を

奨学生本人、保証人には

く一人ひとりのケースとして対応するとの答弁であった。滞納が深刻になつたゆえの対応を、村長はどう考えるか。

進学する学生に
必要な制度

村 長
奨学生の滞納状況については、監査委員から厳しい指摘を受けている。

昭和三十二年に始まつた伝統ある奨学生制度であるが、滞納額が増えていることは非常に残念である。滞納が原因で、これから進学しようとする生徒に影響が出ることは避けなければならぬため、十分議論して対応したい。

十分調査し
対応する

教 育 長
奨学生の貸与については、法的なことも十分調査したうえで対応する。滞納している奨学生の弟・妹に貸与しないというのは、対策の一つとして想定した個人的な考え方で、決定事項ではない。

平成21年5月29日現在

奨学生の滞納総額：1965万5千円
滞納者の延べ人数：186人

奨学生の滞納が増加 滞納解消に努力せよ

努力せよ

川岸委員

今回の決算には反映されていながら、奨学生の滞納者の中でも大口の滞納が解消されたと聞く。どのように対応したのか。

大口の滞納者へ
厳しく対応

教育長
口頭で支払いを約束しても、一向に納入されなかつ

滞納による制度の崩壊は避けるべき

川岸委員

強い姿勢で臨んだ結果であると評価するが、督促してもしなくとも定められた金額を納付するのが奨学生の義務である。教育委員会の職員配置は十分とは言えないが、歴代の村長が力を入れてきた教育、奨学生制度の理解を深めるため、さらなる努力をお願いする。

村長は、滞納額の増加によって奨学生を減額する可能性も示唆している。今後進学する生徒のために、一度考えてほしい。

奨学生本人の
自覚が大切

教 育 長

滞納額の合計が二千万円に迫るほどになつていています。職員一丸となつて滞納解消に努力していく。

滞納解消に努力を

川岸委員
貸与申請時の対応は良いと思うので、今後は滞納を解消するよう努力してほしい。

職員一丸となつて努力する

村 長
滞納が増え続ければ、奨学生の減額も考えなければ

より良い教育を受けるため、可能であれば奨学生を額納付された。

た奨学生・保証人へ再三に亘る督促を行なつたところ、月末に保証人から全額納付された。

ならないが、それは本意ではない。滞納者には、奨学生によって高校・大学などで教育を受け、成長することができたと自覚していた

行政改革大綱見直し時期 三面単独責任を果たせ

昨年9月、村長は「当面単独」を表明している

川岸委員 行政改革大綱に基づく取り組みの成果は、また、期限が平成二十一年度となつていても、平成二十二年度以降の策定は、

額が六億三千三百五十九万円となつてゐる。このような厳しい環境の中では、一定の効果を収めたものと受け止めてゐる。

間もなく平成二十二年度以降の策定作業に入るが、行財政改革も限界に達しているのが現状であるので、職員の意識改革によるさまざまな工夫を凝らしていくたい。

川岸委員　　**村長の責任を果たすべきだ**

政権交代もあり、平成二十二年度以降の予算の見通しがつかない状況である。村長は、強い決断力をもつて行政運営にあたり、「当面単独」を選択した責任を果たすべきではないか。

みんなの気持ちを
ひとつに

村長の責任を
果たすべきだ

総務省から内閣府に関係書類が提出されており、間もなく県に内示が出され
る。県の内示を受け、村では交付申請を行ない、ブロードバンド・携帯電話事

村長 予算に関する危惧があり、県を要望している。事業の縮小も念頭に置きながら、できるだけ当初計画通りに進められるよう、情報収集にあたる。

交付金の配分に
不安もある

坂井委員 ブロードバンド整備計画は、国の補正予算を財源としているが、政権が代わって予算の凍結・見直しが見込まれている。今後、事業の採択される自治体が決定されるまでのプロセスは。

地域情報通信基盤整備推進事業(ブロードバンド)
計画どおり実施できるのか

ブロードバンド・ゼロ地域を解消した 新潟県村上市朝日支所を視察（10月7日）

事業とも十月から十一月にかけて決定され、事業に着手できる見込みである。

当村は最優先されるべきでは

坂井委員からの助言を受けて応募した経緯などを考へると、当村が最優先で採択されるべきではないか。

県や国議員などとの太いパイプを強調している。その政治力をフルに活用し、実現させるべきである。

インフルエンザ 予防接種の助成を継続せよ

坂井委員 季節性インフルエンザの予防接種は、中学生まで無料で実施されている。昨年の経費と実績は。

住民福祉課長 乳児から中学生まで二百六十八人が接種し、五十三万六千円。なお、高齢者は六百二十一人、百二十六万九千円助成したため、合計百八十万五千円である。

坂井委員 今年度も、昨年度と同様に実施するのか。

実施する計画

助成を実施か

乳児から中学生 268人が接種

住民福祉課長 接種費用の助成は、昨年度と同様に今年度も実施する計画である。

新型インフルの予防接種助成は

坂井委員 新型インフルエンザの感染者数が急激に増えており、死亡者も出ている。厳しい財政状況下ではあるが、新型インフルエンザワクチン接種にも助成をすべきではないか。

教育長 担当課と協議し、実施する方向で進めたい。

宮川委員 また、閉鎖が二学年以上となつた場合は休校とする。

新型インフル発症あれば休校も

佐井小・佐井中では、新型インフルエンザと確認された児童生徒が一人以上出た場合、学年閉鎖とする。

なお、臨時休校の目安は一週間としている。

村長 新型インフルエンザワクチン接種にも助成をすべきではないか。

助成する方針



インフルエンザ予防接種券の交付（磯谷地区）

新型インフルエンザ 学校の対応は

補正予算の内容

会計	予算額	補正額	予算総額
一般	30億9644万7千円	4397万3千円	31億4042万円
下水道	シティライン懸に対する欠損額補助金 「公共施設維持補修基金」積立金 海岸漂着物処理清掃事業・水産振興事業補助金	416万5千円 1810万円 586万3千円 など	1億8373万円
国民健康保険	福浦・牛滝小中では、新型インフルエンザと確認された児童生徒が一人以上で休校とする。	780万円	4億1614万5千円
老人保健	老人保健交付金の確定に伴う増額	▲ 145万1千円 など	625万3千円
介護保険	介護給付費負担金及び地域支援事業交付金等の確定に伴う返還金	67万1千円	2億8177万9千円
後期高齢者医療	保険料納付金見込み額の減額	1021万2千円 ▲ 153万6千円	2708万9千円



川畠勲夫議員



人と天然記念物北限のサルとの共生シンポジウム
(8月19日：プラザホテルむつ)

川畠議員
八月十九日、むつ市で開催されたシンポジウムで、むつ市が導入したモンキードッグ事業の事例発表があり、効果があることが報告された。課題もあるようだが、村でも導入すべきではないか。

村長
モンキードッグ導入は難しい
モンキードッグの導入には、村が導入する方法と、村が補助金を交付して農業者が育成する方法がある。むつ市脇野沢地区で、成果があると報告されているが、

当村の場合、各地区に配置が必要であり、飼育や管理に要する財政的な負担もある。むつ市からアドバイスを受け、郡内三町村が連携して取り組んでいかなければ、モンキードッグの導入はできないものと考えている。

川畠議員
駆除の強化で共存を
駆除を強化したほうが、人とサルとの共存が図られると思うが。



草が絡まり、通電していない金網タイプの電気柵

モンキードッグは効果あり効果的な被害対策を

村長
第二次青森県特定鳥獣保護管理計画（平成二十年～平成二十三年）に基づき、群れから計七十九頭の捕獲が計画され、これまでに十四頭捕獲している。これは、いわゆる間引きという

産業建設課長
群れ捕獲は、平成二十四年からの第三次計画に盛り込まれたとを考えている。計画が策定された場合、群れ捕獲に対応した

村長
今年度は、原田地区に新規整備する計画であり、順次各地区に整備する。また、十年以上経過し老朽化している電気柵は、使用者に経費の一部を負担しても

村長
むつ市大畠町二枚橋地区に、発信器の付いたサルが近づくと、地域住民に回転灯とブザーで知らせ

川畠議員
被害軽減にはつながっていない
駆除の計画と、その成果は。

村長
第三次計画に反映させる

川畠議員
電気柵の整備はある
電気柵を新たに整備する計画はあるか。

川畠議員
サル接近警戒システムは導入は。
サル接近警戒システムの導入は。

川畠議員
無線放送で対応
無線放送で対応

9月定例会



9月9日の夜間議会は28人のみなさんに傍聴していただきました

る「サル接近警戒システム」が導入されている。当村はサルの出没状況を隨時防災無線で周知しているため、導入は考えていない。

農業者の苦しみ 理解求めよ

村長
適宜対応する

者もいた。被害状況や農業者の苦しみを、もっと知つてもうよう対応できないか。

川畠議員
先般のシンポジウムでは「サルからすれば人間は傲慢である」と主張する出席

保護団体への情報発信を重視して被害対策が遅れることも懸念されるが、適宜対応したい。

林道・作業道整備で 分収育林に附加価値を

村長
伐期を迎えた分収育林は、伐採しても搬出路がないために安値で販売されいると聞く。付加価値を付けるため、林道や作業道を整備すべきではないか。

搬出などの経費
最小限に留める

川畠議員
伐期を迎えた分収育林は、伐採しても搬出路がないために安値で販売されると聞く。付加価値を付けるため、林道や作業道を整備すべきではないか。



冬に備えて薪割りに大忙し

川畠議員
林道の建設は補助対象事業となる。補助率と村の負担割合は。

林道整備に補助は

川畠議員
木が売れるごとに、一部は村の収入になる。その収入を林道などの建設に当てることはできないか。

林道建設を

川畠議員
「森林整備地域活動支援交付金事業」では、事業費の四分の三が交付される。今年度実施される「森林整備加速化林業再生事業」では、全額補助となっている。

補助事業がある

川畠議員
先般伐採した磯谷の分収育林に対する村の収入は、二十五万円程度である。木材価格の下落が続いているため、対応は難しい。



伐採されたスギ林（古佐井山）

9月定例会

追跡質問

経済危機対策／公共投資臨時交付金事業

進捗状況は

10月下旬に
着手の見込み地元企業への
対応は

参事・総務課長

工藤議員
これらの事業に伴う地元
企業への対応は。

工藤議員
六月定例会で質問した地域活性化・経済危機対策臨時交付金および地域活性化・公共投資臨時交付金事業の進捗状況は、また、先代が決まり、国の平成二十一年度補正予算の一部凍結などがあるようだが、その影響は。

村長
入札に向けた準備を進めている

川目地区の携帯電話不感
対策事業は、県の予算計上・要綱整備を待ち、十月下旬には着手できる見込みである。ただし、携帯電話

サービスの提供
は、ブロードバンド整備が完了したあとになる。

平成二十一年九月一日発行のさい議会により（臨時号）に掲載した地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の記事中、下段『e-LTAX導入事業』について「インターネットを利用して「インターネットを利用した地方税の申告などの手続きができる」と説明しましたが、今回の事業では、個人住民税の公的年金からの天引きに必要なシステムの導入のみを実施します。

※※※
※訂※
※正※
※※※



経済危機対策臨時交付金で
買い換える予定の公用車

村長
村が計画している地上デジタル対策事業をはじめとする地域活性化・経済危機対策事業は、入札に向けた事務手続きをしているところである。

また、各自治体ともすでに事業に着手しているため、国が自治体財政を混乱させるようなことはないと確信している。

村長
「地元でできるものは地元で」

陳情書の審査結果

件名	陳情者	審査結果	付託委員会
教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	日教組 青森県教職員組合	採択	総務文教常任委員会
高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の助成に関する陳情	青森県保険医協会	資料配布	
乳幼児期のヒブワクチン接種助成に関する陳情	青森県保険医協会	資料配布	

※ 肺炎球菌・ヒブワクチン接種の助成については、議会運営委員会委員長が、助成に向けて努力するよう村に申し入れをしています。

9月定例会

追跡質問

公共下水道整備計画

計画の変更許可申請の状況は

田中議員
三月定例会で、黒岩・中道・原田・川目地区の公共下水道計画について、今年度中に変更許可申請をし、計画を中止するとの説明がされた。県に申請する内容はどうなっているのか。

計画中止の地区へ
浄化槽の助成は

田中議員
平成二十三年度から実施されるのであれば、現在新築中の方は対象にならないのか。

備事業を合わせた現在の加入率は二十八・五パーセントと、非常に低い。県が実施する加入促進のための補助制度はなく、村単独での補助も財政的に難しい状況である。

平成二十三年度以降の計画策定時、変更した内容で事業計画年度内の変更ができることが分かった。平成二十三年度以降の計画策定時、変更した内容で事業計画を提出する予定である。

田中議員
平成二十三年度以降の計画策定時、黒岩・中道・原田・川目地区の公共下水道整備が中止されることは、非常に残念である。

これらの地区的浄化槽設置に対する助成をするとの説明もあったが、実施されるのか。

田中議員
新たな公共下水道整備計画に伴う対応であるため、対象にならない方にはご理解をいただきたい。

教育委員（委員長）岡本良夫氏の任期が平成二十一年十月二十七日で満了するため、引き続き同氏を教育委員に任命することに、全会一致で同意しました。

再任
教育委員
岡本良夫さん

新任 固定資産評価審査委員
大石光範さん

平成二十一年九月十六日で固定資産評価審査委員会委員、萬谷栄一氏の任期が満了するため、後任に大石光範氏を選任することに、全会一致で同意しました。



岡本良夫さん
(大佐井)

大石光範さん
(古佐井)

産業建設課長

平成23年度以降の
計画に反映する

平成23年度以降の
計画策定時、変更した内容で事業計画を提出する予定である。

村長
風間浦村では、国の「地域住宅交付金事業」を活用し、三十五万円の定額補助を行なっている。条例などを整備しながら、平成二十三年度から事業を実施したい。

平成23年度以降の
補助を検討

田中議員
対象にならない
対象にはどうか

田中議員
加入率向上には
村の配慮が必要
可能な限り
対応する

田中議員
公共マスから住宅の近くまで、村がパイプを引くなどして整備しやすくできるか。
工事費が安くなり、最大の効果が得られるよう住民の相談に乗り、可能な限り対応したい。

村長
高齢者世帯への
補助はどうか

田中議員
加入率向上のため、高齢者世帯への補助制度を希望していたが、検討したか。

村長
村単独の助成
実施は難しい

平成二十二年度までの公共下水道整備計画に基づき、今年度も一部で工事を実施している。県と協議し、変更部分は

特定環境保全公共下水道整備事業と漁業集落環境整備事業と

未来への財産～伝承芸能

《その4》

平成20年11月2日に開催された『佐井村郷土芸能発表大会』に出演された矢越若者会、原田共済会のみなさんを紹介します。

矢 越 若 者 の 会



会長：福田 剛さん
会員数：7人

矢越若者会は昭和二十二年に結成されたが、明治期から終戦までは「若者組」として活動していた。終戦時に記録文書を処分したという歴史もあるが、明治三十九年に東通村目名から習った神楽が今の「平獅子」の原型であると伝えられている。現在も神楽を中心とした郷土芸能を伝承しており、地区で決められたまつりには必ず神楽を運行している。また、補助事業の指定を受け、子ども会に神楽と祭囃子の指導もしている。

会員は四十歳で退会となるため、現在の正会員は七人、準会員は二人である。会員だけの活動には限界があるため、各行事には退会した先輩たちに協力していただいている。

歴史ある神楽をはじめとする郷土芸能を子どもたちにも受け継いでもらうため、今後も精一杯活動を続けていく。

原田共済会



会長：佐藤 昭弘さん
会員数：20人

原田共済会の現在の会員数は二十人であるが、会員は四十五歳になる年に退会しなければならないことになっている。ここ数年は入会者がなく、会員数が減ってきているため、各行事には、退会した先輩たちと高校生に手伝つてもらつているが、就職などで地元を離れた人も、長期の休みを利用して帰省した際は、進んで運行に協力してくれる。

お盆前に一週間程度、子どもたちへの指導を行なつており、まつりがある年は太鼓の打ち習いも実施している。伝統芸能である神楽を絶やさないために、今後も子どもたちへの指導を継続し、その子ども・孫にも受け継いでもらいたいと考えている。